

BRM503 イザベラ X 真澄 600 km 参加案内：

▲ BRM503 イザベラ X 真澄 600 kmにご参加をいただきまして、ありがとうございます。本ブルベは弘前から八戸まで、青森県の海岸線を巡る美しいコースです。ぜひご堪能ください。

写真ポイントを中心に各区間の注意点をご案内します。

1. 写真ポイント 一岩木山神社

桜が満開の弘前をスタートし、岩木さん神社に立ち寄ってから、日本海沿岸の鮭ヶ沢まで県道3号を走ります。途中、満開の桜並木が楽しめるはずです。そこからは日本海を龍飛崎まで北上します。岩木さんを過ぎれば龍飛崎まではほぼ平坦な区間です。

お天気が良ければ龍飛岬から北海道の松前半島一下北半島方面までが一望でき、またここまで走って来た道を振り返れば、岩木さんを中心に津軽平野方面の絶景をお楽しみいただけます。龍飛岬への登り勾配は厳しいので、景色を楽しみながら、時々休みながら、登ってください。



津軽海峡の向こうは松前半島

2. 写真ポイント 津軽国定公園鑄釜崎トイレ

陸奥湾沿岸の外ヶ浜から次の写真ポイントの津軽国定公園鑄釜崎までは平坦な河岸線です。公園に到着しましたら、可愛いトイレの建物をバックに自転車の写真を撮ってください。丁度お昼前後の時間帯になるはずです。最初はフラット，途中からなだらかな起伏が続く区間です。青森市に近くにつれ下北半島沿岸の白い崖がドーバー海峡のチョウク・クリフさながら，陸奥湾越しにはっきりと見えて来ます。



写真ポイントのトイレ。この公園からは龍飛方面の景色が素晴らしいです。

お弁当を調達して，ここで昼食を取ることをお勧めします。

3. 写真ポイント 夏泊半島東田沢郵便局

青森市内，浅虫温泉を通過してから，夏泊半島に入ります。フォトチェックは東田沢の郵便局ですが，集落に入ってから海沿いの道ではなく，山寄りに旧道があります。あくまでも海寄りの道と並行している旧道を走ってください。郵便局は旧道沿い進行方向左側にあります。見逃す可能性がありますので要注意です。



4. 写真ポイント 道の駅わきのさわ

下記のように R 3 3 8 に沿って大きい駐車場があり，写真右側，一段と高い位置にある建物が道の駅です。写真左奥に白い長細い看板があります。ここが写真ポイントです。下記の画像は日中の様子ですが，（途中で仮眠しないことを前提に）参加者が平均時速 1 7 k m ～ 2 5 k m の範囲内で走っている場合，通過時刻は 2 1 : 0 0 前後から午前 3 : 0 0 にかけてとなります。平均時速 3 0 k m で走れる人，もしくは 1 6 k m 未満で走る参加者だけは前者は夕方の明るい時間帯に，，後者は明け方の明るい時間帯に通過することができます。。

「道の駅わきのさわ」はスタートから 3 5 6 . 5 k m の地点です。余裕のある方は，むつ市街でホテルに入って仮眠をして，明け方に海峡ラインを越えることを推奨します。

海峡ラインは登りも降りも勾配は急で，しかも鬱蒼とした森林地帯です。次の佐井村まではまったく集落はありませんので，特に注意して走ってください。

今年の青森の積雪量は多く，海峡ラインの冬季通行止めが解除されるのは 4 月 2 5 日の正午からですが，今の所開通の予定に変更がないことを確認できました。本ブルベ開催の数日前に道路状況を改めて現地で確認する予定です。



5. 写真ポイント 大間崎



写真は鯨／大間崎の看板のどちらでも良い。

大間を過ぎてから尻屋方面は交通量が少なく、多少の起伏もありますが、気持ちの良い道です。

尻屋崎には立ち寄る時間が無いのが残念ですが、途中の道路沿いの牧場では馬や牛と出会えます。

江戸時代、菅江真澄が下北半島に逗留していたころ、大間には広大な馬の牧場があったそうです。

尻屋崎は現在も真冬屋外で飼育されている『寒立馬』が有名です。

菅江真澄が見た江戸時代の大間：

「津軽海峡を渡って菅江真澄が上陸した奥戸（大間町）の「奥戸の牧」と、この大間岬を見下ろす「大間の牧」は、ひとつながりの牧場であった。菅江真澄の時代は馬を飼っていたわけだが、盛岡領でも有数の牧場の一つだった。万葉の昔から盛岡領は名馬の産地で、菅江真澄の旅の目当ての一つは、この南部馬を見ることだったのである。南部馬の血を引く馬が、現在も尻屋岬に放牧されている。「寒立馬」（かんだちめ）である。潮風を受ける岬の丘は、放牧に適している。奥戸から大間にかけて、潮風のなか馬が放たれている光景が、江戸時代にはあった。」<http://hsaitoh.jugem.jp/>

6. PC2 ファミリーマート東通店

ファミマ東通店の隣に海鮮料理が美味しい「松楽」がお勧めです。

<http://www.higashidoorihirame.com/shop/shoraku.html>

せっかくここまで走って来た下北半島。海鮮料理を堪能してください。ちなみにPC2の手前には東北電力東通原子力発電所があり、その脇を通過します。長い鉄条網にたくさんの監視カメラが据え付けられています。



その他の注意事項

7. R338—R394 六ヶ所村付近からトラックの交通量が多くなります。
8. ゴール手前30kmくらい、特に五戸あたりからはかなり激しい起伏の道が続きます。ゴール直前の足には少し辛いかもしれません。しかし、太平洋沿いの国道の交通量はとても多いので、我慢して走ってください。
9. ゴールした後の受付の手順については別途ご案内を公開していますので、熟読してください。
ゴールされた時間によって受付の手続きが異なります。

では皆様とお会いするのを楽しみにしています。

井手マヤ